

2. あなたが考える守山市全体に対するイメージ

■良いイメージ

①地理・自然

学区	内容
守山	・水ときらめき（流水）
守山	・琵琶湖と田園
守山	・環境にやさしい街づくり
小津	・近江盆地で山のない平野のまち。
河西	・野洲川と共に生きた”まち” ・平地 周囲 40km程度 自転車で3時間
小津	・小都市（10万人まで）で都市とまわりの農村集落がうまくマッチしたところ。
小津	・自然を残していこうとする姿勢は非常にいい
小津	・豊かな田園都市。市政施行当時の市のキャッチコピーが一番印象に残っている。
玉津	・のどかな田園都市。
河西	・田園都市であり、地域特有な特徴のあるまち
河西	・田園と野洲川→グローバルに開かれる。
河西	・田園都市は維持しつつ、住みやすい街。
速野	・田舎だが、意外と便利。
速野	・田園都市のイメージが強いと思うが、産業との共存ができている都市だと思う。
小津	・住みやすい町ではある（災害がなく、空気が良い）。
河西	・災害が少ない町
市外	・川などの自然資源もあるが、駅まわりにはスーパー、飲食店で賑わっていて、とても住みやすいところだと感じる。
中洲	・ベッドタウン。
守山	・地域ごとに残る伝統文化が多く（すし切り祭り、勝部の火祭り等）、干ばつがなく、豊かでいつづけてきた農村の底力を感じられるのに併せ、東海道線で大都市と結ばれた交通の良さ、テレビ局も京都より一系統多く視聴できる。書籍が発売日に買える等。都市文化の利便性も高く、住みやすい所です。両方の良い所を育てて行って欲しいです。私の出身地の四国では、県庁所在地でも書籍は、3~10日遅れです。凄いことなんですよ。

②歴史・文化

学区	内容
守山	・野洲川デルタの文化
吉身	・古い町並、電柱のない町並、手入れされた家。
吉身	・伊勢、下之郷 両遺跡が歴史的にも重要な遺跡と知って素晴らしい町と認識した。
吉身	・新しさと古さの共存。
河西	・古い文化と新しい文化が融合している。
河西	・日本の文化発祥地
河西	・稲作の起こり→荘園（奈良仏教寺院→天台→真宗） ・涌水、益須寺、保養所

③人・コミュニティ

学区	内容
守山	・住みやすさ
吉身	・人々が挨拶を交わす。
河西	・自然が美しく、人が温かい。
河西	・人にやさしいまちづくりを基本
中洲	・若々しく活気に満ちた町
中洲	・人と人とが、強い絆で結ばれた安心して暮らせる町。

■マイナスイメージ

①地理・自然

学区	内容
守山	・全体を考えると、JR琵琶湖線で東部分が分断された感じで特に交通面で、行き来が困難、一部では東側に行政サービス機関をという意見もあるが、確かに朝晩のラッシュ時はマヒ状態である。活性化にブレーキである。
河西	・現状は、大阪・京都のベッドタウンからの変革は大変！
速野	・自然豊かな田園都市から大都市近郊のベッドタウンへと変遷しつつある。
速野	・駅前を中心に人口の密集とともに「活性」という言葉が伴った発展があり、農村部は野洲川の恵みの中で生活してきたが、新野洲川とともに安心、安全を得た代償として「野洲川の水」の恩恵を受けられなくなり、形としての自然は残っているが、中身は人口の減少とともに変わりつつある。全体としての恵まれたものとは相反して、アンバランスがおこりつつある。

②商業・経済

学区	内容
守山	・まだまだ駅前に元気がない。
小津	・表玄関である駅前の活性化が遅れている。色々な活性化事業をするには、資金が必要になるが企業誘致とかは考えていないのですか。
小津	・歴史・人情等々、資源は豊富にある街であるが、核（中心）となるべき、誇れる発信するものがない。
中洲	・駅周辺は発展しているが、駅から遠くなると田舎。
不明	・市長は、守山駅の周辺の整備がほぼ終了したと言われるが、小学校が新しくなっただけで、本当の活性化という事は出来ていないと思います。例えば、銀座の周辺もマンションばかりで、若い人達には魅力ない整備だと感じます。

③人・コミュニティ

学区	内容
吉身	・学区ごとに特色あるイベントの開催をする？外部から移住して人口が増加。土着の人が少ない。
玉津	・守山市だけではないかもしれないが、50代以下の自治会離れなどもあり、まちづくりに無関心な世代が多いように感じる。
河西	・子供が多くなるとともに、自治会の繋がりが希薄になる。
河西	・男性中心の町になっている。男女の固定観念がある。高谷委員長が「インターナショナルにしたい」と言われていましたので、男女共に参画できる社会、活性化をしてほしい。
速野	・地味な人が多い
速野	・人口増で活気があるようだが、若者の活躍する場が少ないように思う。
中洲	・中洲学区等、人口が少ない、高齢化率が高い地域を活性化するプランが必要。
不明	・駅前や北部地域は発展しているが、中間の市街化調整区域は少子高齢化が益々ひどくなっている。
不明	・地元の住人が生活のために京阪神のような都会に出る人が多く、金のかかる歴史、自然資源を守る事に関心がない。

■今後のイメージ・理想像

学区	内容
守山	・歴史・文化・水資源・河川・道路の整備が行われ、中心市街地と田園風景がバランス良く維持された、緑豊かな、他の地域にない守山市の形成が出来ればと思います。
守山	・昼夜人口のバランスのとれた守山「日中来街者の増加する街へ」。
守山	・歴史・文化・自然」を大切に作る街づくり
吉身	・観光とか若者が来る町にして欲しい。
吉身	・守山市外から人を集める活性化 ①琵琶湖の美しさを活かす ②歴史・遺跡のPR ・市民の活性化→駅付近の尚一層の活性化 ①守山市関係資料の図書館 ②駐車場の確保
玉津	・東一中一西 全体バランスを取ることで。
守山	・最近ではウォーキングにたくさんの方が市外からも来ておられるので、観光案内的なことも活性化に繋がるように考えてもらいたい。
玉津	・緑豊かな田園都市と市民にうたわれてる、自然に恵まれた住環境を大切に、住んで良かった、住みたいまちづくりをすすめて行ったし、市民・行政が一体となって協働のまちづくりをし、文化財源を大切に作る守山市であってほしい。中心市街地活性化、事業に於いても古くからの資源・財源も活かしたまちづくりをしてほしい。
河西	・住宅、家の近くに小川が流れ、鯉や小魚が住める町づくり。これから住宅が建設される土地は、五香目の町づくり。守山駅中心に昔の商家的建物。守山は歴史の町。商家中心に江洲の誇り。
速野	・守山市も都市化が進っていますが、過去の文化遺産を活用して文化都市と文化遺産がコラボした町づくりを進めたい。
速野	・自然と歴史遺産と共に住む市民が輝くまちを理想としたい。
速野	・遺跡は田園都市として他の都市と提携し、お互いを相乗効果で向上させていく。 ・野洲川河川敷や守山地球市民の森を活用してのスポーツ等の活性化。
河西	・自然堤防（宿坊・街道）交通の要に。

■その他

学区	内容
守山	都市計画は、いつ策定されたのか。見直す（人口減少時）時期にきているのではないのでしょうか。
吉身	・日本のほぼ中央に位置し、交通アクセスの便利さを更に活用していくことを、これからの守山の活性化のベースにするべき。本日の講演だけでは、過去の資源を守ることしか伝わらない。遺跡の整備は更にやるべきであると思います。
吉身	・湖を介した交易、街道を介した交易についての文化を残しても良いと思う。
吉身	・各地域ごとの特徴ある活性化プランが必要。 ・都市部 ・田園部 ・湖岸部 「活性化」の定義？
吉身	・セコセコした活性化ではなしに、住んでいる人が楽しくなるようなまちづくりが必要ではないでしょうか？何かを成す場合、議論のプロセス、つまり会議に何人参加したかで決まるような気がする。
玉津	・学区別会議での意見を参考にしたい。
河西	・究極の目的は、これに有ると考えます。しかし、現在、多くの事業があり、これをどのような位置付けとしていくのが大切。
速野	・守山駅より琵琶湖大橋への活性化を。
速野	・歴史・財産は沢山あるが、これらを活かす全体のまとまりがつかみにくい。
速野	・各学区の活性化プランが有機的に関与する中で大きな活動となれば最高と思う。